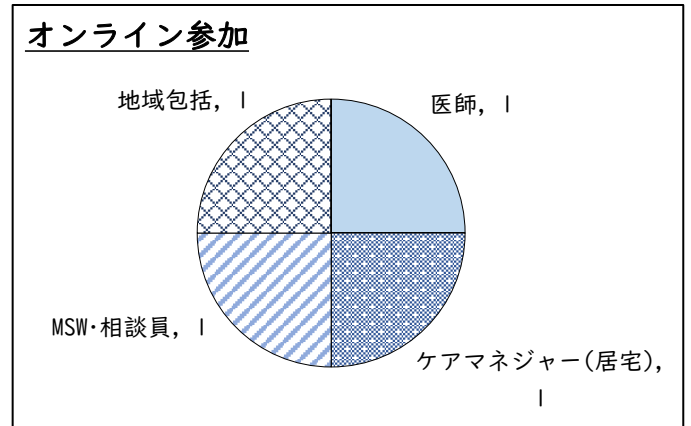
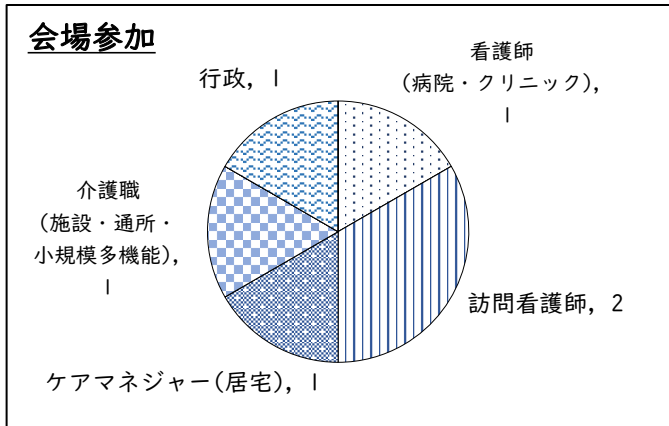


令和6年度 第2回事例を通して学ぶ多職種研修会 アンケート結果

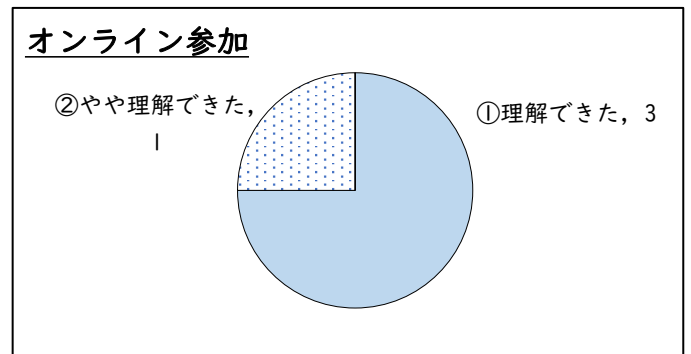
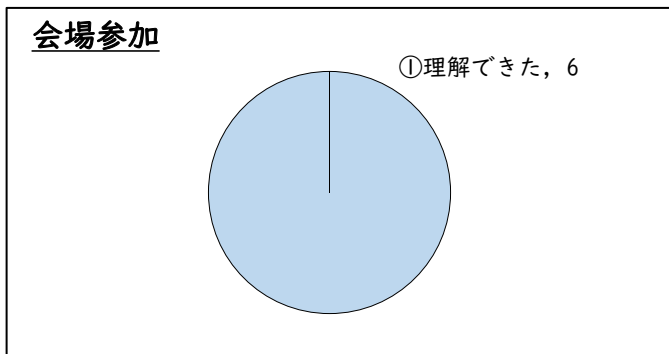
日時：令和7年1月29日(水) 18時30分～

回答率：会場参加 6/6名, オンライン参加 4/7名

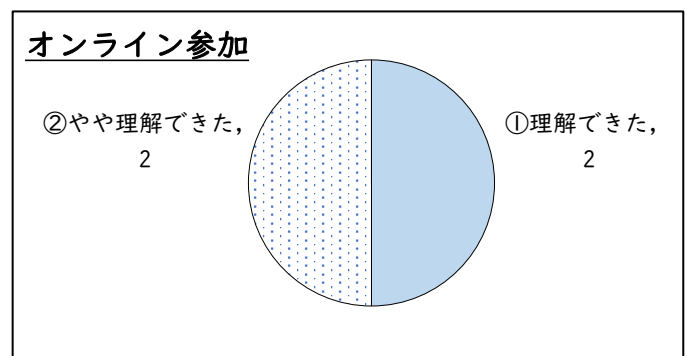
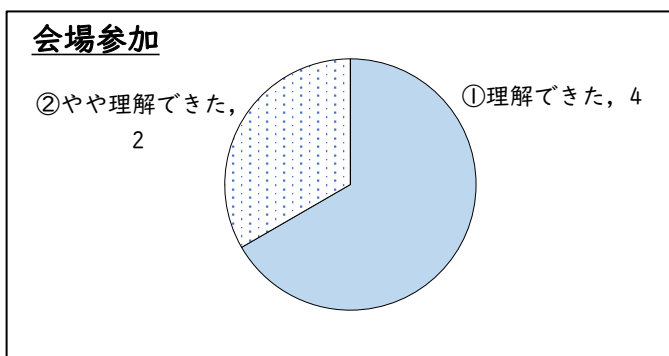
1. 職種・所属について



2. OHAT-Jの目的や活用の意義について理解できましたか？



3. OHAT-Jに基づいた具体的な口腔の評価の方法について理解できましたか？



わかりにくいと感じた評価項目や難しいと感じたところがあれば教えてください。

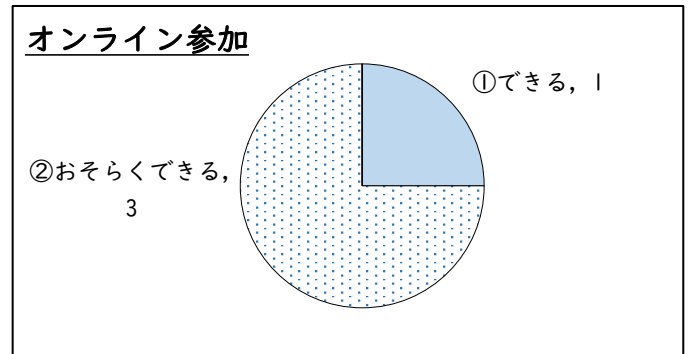
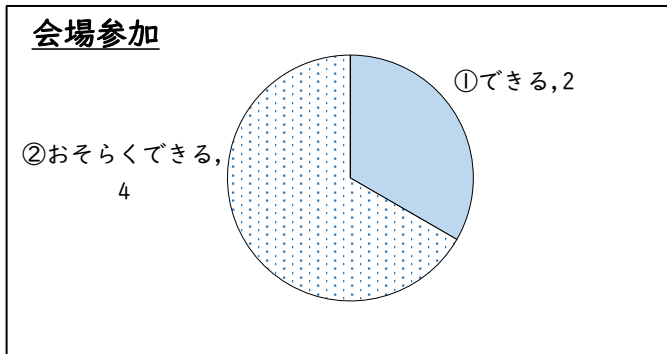
〈会場〉

- ・唾液の量がどの程度かの判断が難しい。高齢者は特に少ないため。
- ・写真と実物ではまた違うと思うので…

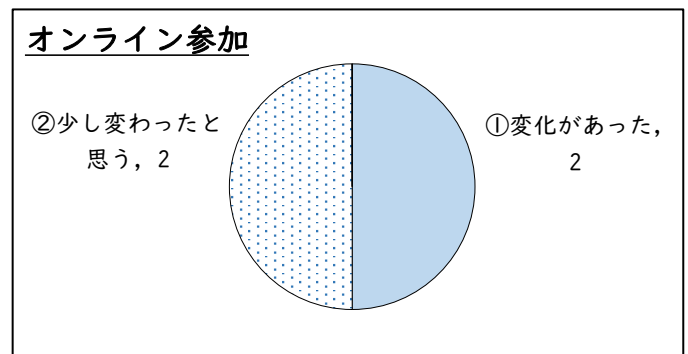
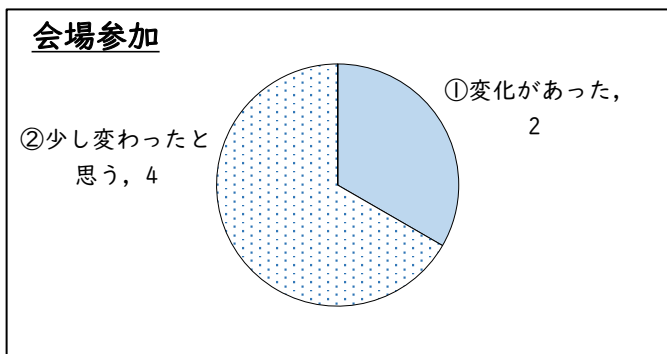
〈オンライン〉

- ・OHAT-Jの考え方として「口腔内の共通言語」であるという学びが出来ました。一つ質問ですが、合計点に関する指標(カットライン)というものがあるのでしょうか。単純に得点が高ければ高いほど口腔の状態が悪いという判断指標をするというものなのか、あくまでも8項目それぞれの状態指標という見方をするものなのでしょうか。聞きましていただきます。
- ・唾液の評価は難しい。
- ・スコア1, 2の違い。評価に時間がかかりましたが、回数(経験)を重ねて慣れていけるかなと思いました。

4. 今回の研修内容を業務に活かすことができそうですか？



5. 研修によって口腔に関わる取り組み方や視点、考え方など何か変化がありましたか？



①, ②を選択した方は具体的にどのような変化があったか教えてください。

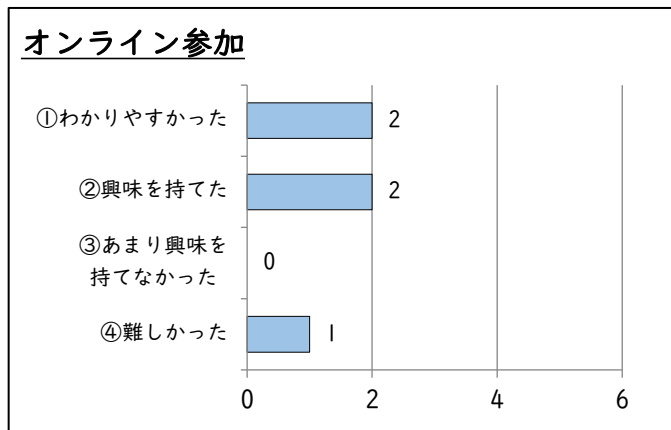
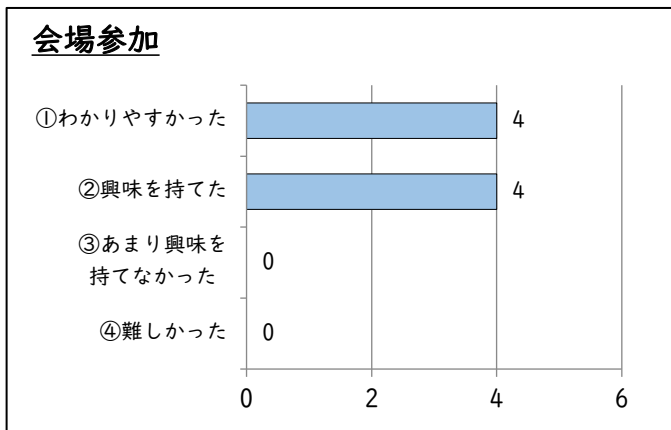
〈会場〉

- ・昼食時や、口腔ケア時にしっかり観察していきたいです。
- ・OHAT-Jの使い方がわかったことで活用しやすさを感じた。
- ・普段、口腔内の異常を表現する(どのように伝えればよいか)ことができるようになると思います。
- ・口腔内の観察する視点が、今までは何となく見ていたが、スコアで判断できるようになったことでより細かく観察できるようになりました。
- ・訪問時の口腔トラブルの方もいるので、アセスメントし歯科との共有ができる。
- ・歯以外の部分も見るという意識づけになった。

〈オンライン〉

- ・口腔研修を受けるようになって以降、相談支援場面においても口腔内の状態や歯科受診に関する質問などアセスメントの幅が広がったと感じている。
- ・OHAT-Jを活用して気づくこと、そして専門職へつなぐこと、難しいなと感じていましたが、取り組んでいけると意識が変わりました。
- ・スコアリングも大事ですが口腔内の観察のポイントが理解できました。今後は患者さんの口腔内、歯の状態を自分なりに評価できるのではないかと思います。
- ・薬によって歯肉の変化や口臭があること、具体例を写真で見ることで、気をつけて観察する部分がわかり良かった。

6. 全体を通して本日の内容はいかがでしたか？(複数回答可)



ご意見をお聞かせください。

※③,④を選択した方はどのようなことをもっと知りたいか,難しかった部分はどんなところか教えてください。追加で説明して欲しい部分や疑問などもお書きください。

〈オンライン〉

- ・練習問題ではスコアの付け方が難しく感じました。
- ・簡潔でわかりやすかったと思います。(時間も1時間でよかった)
講義→問題→解説の進行もよかったです。
- ・川原様のご説明,とても分かりやすく研修を重ねる度に理解が深まりました。研修の時間も良かったです。ありがとうございました。

7. 今後学びたい内容やテーマがあればご記入ください。

〈会場〉

- ・口腔ケア方法やグッズなど知りたい。
- ・口腔, 歯のケアの方法について知りたいです。

〈オンライン〉

- ・川内のことばで利用者さんと楽しくコミュニケーションをとる方法
- ・ブラッシングの方法(介助者が介護する方に行う場合)とか, 口腔ケアに用いる器具の紹介や使い方について